

令和8年度 学校マネジメントシート

学校名(三重県立桑名西高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校の姿	<p>校訓「自主・創造」のもと、地域・関係機関等との協働・交流や探究活動を通して自己肯定感を高め、たくましく生きる力と他者への思いやりを持った自律した学習者たる生徒が育つ学校を目指します。</p>				
(2)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;"> 育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】 </td> <td> <p>○自己肯定感や責任感を高め、基本的な生活習慣を身につけた自律的な生徒 探究活動や日常生活を通じて、自己肯定感や責任感を養い、たくましく自律した生活態度を身につけます。</p> <p>○学力と人間性を兼ね備え、主体的・協働的に取り組む生徒 学習活動や特別活動、部活動などに自主的・協働的に取り組み、社会で必要とされる確かな学力と、思いやりや配慮といった豊かな人間性を育みます。</p> <p>○自分の進路を主体的に選択し、将来地域や社会に貢献できる生徒 自らの興味や適性、進学・就職の意義、社会貢献について考え、主体的に進路を決定し、将来地域や社会に貢献する姿勢を育てます。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> ありたい教職員の姿 </td> <td> <p>○学校の理念や目標を共有し、協力して教育活動に取り組む教職員 学校の理念や目標の実現に向けて、自らの役割と使命を自覚し、教職員同士が協力して取り組む姿。</p> <p>○生徒の主体的な学びを支え、教育活動の工夫と改善に努める教職員 すべての教育活動において、生徒が知る喜びや学ぶ楽しさを実感し、思考力・判断力・表現力を育めるよう、主体的な学びを促す工夫と改善を続ける姿。</p> <p>○変化の激しい社会のニーズを敏感に捉え、自己研鑽を続けて成長する教職員 多様化・高度化する社会の変化や教育課題に対応するため、自ら学び続け、知識・技能・人間性を磨き、自身の特技を持って前向きで充実した日々を送る教職員の姿。</p> </td> </tr> </table>	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<p>○自己肯定感や責任感を高め、基本的な生活習慣を身につけた自律的な生徒 探究活動や日常生活を通じて、自己肯定感や責任感を養い、たくましく自律した生活態度を身につけます。</p> <p>○学力と人間性を兼ね備え、主体的・協働的に取り組む生徒 学習活動や特別活動、部活動などに自主的・協働的に取り組み、社会で必要とされる確かな学力と、思いやりや配慮といった豊かな人間性を育みます。</p> <p>○自分の進路を主体的に選択し、将来地域や社会に貢献できる生徒 自らの興味や適性、進学・就職の意義、社会貢献について考え、主体的に進路を決定し、将来地域や社会に貢献する姿勢を育てます。</p>	ありたい教職員の姿	<p>○学校の理念や目標を共有し、協力して教育活動に取り組む教職員 学校の理念や目標の実現に向けて、自らの役割と使命を自覚し、教職員同士が協力して取り組む姿。</p> <p>○生徒の主体的な学びを支え、教育活動の工夫と改善に努める教職員 すべての教育活動において、生徒が知る喜びや学ぶ楽しさを実感し、思考力・判断力・表現力を育めるよう、主体的な学びを促す工夫と改善を続ける姿。</p> <p>○変化の激しい社会のニーズを敏感に捉え、自己研鑽を続けて成長する教職員 多様化・高度化する社会の変化や教育課題に対応するため、自ら学び続け、知識・技能・人間性を磨き、自身の特技を持って前向きで充実した日々を送る教職員の姿。</p>
育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<p>○自己肯定感や責任感を高め、基本的な生活習慣を身につけた自律的な生徒 探究活動や日常生活を通じて、自己肯定感や責任感を養い、たくましく自律した生活態度を身につけます。</p> <p>○学力と人間性を兼ね備え、主体的・協働的に取り組む生徒 学習活動や特別活動、部活動などに自主的・協働的に取り組み、社会で必要とされる確かな学力と、思いやりや配慮といった豊かな人間性を育みます。</p> <p>○自分の進路を主体的に選択し、将来地域や社会に貢献できる生徒 自らの興味や適性、進学・就職の意義、社会貢献について考え、主体的に進路を決定し、将来地域や社会に貢献する姿勢を育てます。</p>				
ありたい教職員の姿	<p>○学校の理念や目標を共有し、協力して教育活動に取り組む教職員 学校の理念や目標の実現に向けて、自らの役割と使命を自覚し、教職員同士が協力して取り組む姿。</p> <p>○生徒の主体的な学びを支え、教育活動の工夫と改善に努める教職員 すべての教育活動において、生徒が知る喜びや学ぶ楽しさを実感し、思考力・判断力・表現力を育めるよう、主体的な学びを促す工夫と改善を続ける姿。</p> <p>○変化の激しい社会のニーズを敏感に捉え、自己研鑽を続けて成長する教職員 多様化・高度化する社会の変化や教育課題に対応するため、自ら学び続け、知識・技能・人間性を磨き、自身の特技を持って前向きで充実した日々を送る教職員の姿。</p>				

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><桑西生></p> <ul style="list-style-type: none"> ○興味関心を喚起する授業 ○進路希望が実現できるきめ細かい支援 ○安心して学校生活を送るための教育環境と、学校行事、生徒会活動、部活動等の充実 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学力の伸長と進路希望の実現に向けたサポート ○学校行事や部活動等とおした豊かな人間性の育成 ○安全・安心な教育環境 <p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域社会で主体的に活躍できる人材育成 ○授業や学校行事の公開、部活動の交流、地域行事への参画をとおした開かれた学校
-----------------------------	--

		連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待		<保護者等> ○豊かな人間性を育成できる教職員の支援 ○桑西生の様子や進路情報等の提供 <中学校> ○本校の特色や桑西生の様子、進路状況等の発信 <地域> ○地域活動への生徒の参加 ○学校行事の公開や施設の開放	<保護者等> ○学校教育への理解と協力 ○基本的な生活習慣の確立と家庭での見守り <中学校> ○基本的な生活習慣の確立と基礎学力の定着 ○情報の共有 <地域> ○教育活動の理解と協力 ○教育リソースの提供
(3) 前年度の学校関係者評価など		○文化祭、生徒総会等、生徒が主体的に活動する行事が多いことが桑西の良いところだと感じており、今後も大切にしていきたい。 ○多くの学校で探究学習が調べ学習で終わっていることが多いように思う。ネット上で調べて終えるのではなく、地域へ出向いて大学や専門機関との連携やフィールドへ出て調査するなど探究活動をさらに深堀できるとよい。 ○前期入試の活用など特色ある生徒を確保していくこともよいのではないかと。 ○生成 AI の活用について不安に思う保護者が理解できる説明が必要。	
(4) 現状と課題	教育活動	○挨拶ができ、素直で、学習や部活動に熱心に取り組む生徒が多い。一方で、将来、社会で生き生きと活躍できるよう、主体性や探究心、自己肯定感を育む教育の一層の充実が課題である。そのため、生徒主体の活動を進めるとともに、地域の企業や大学等と連携した探究学習等の充実を図る必要がある。 ○大学・短大・専門学校・就職など、生徒の進路希望や進学・就職の選択肢は多様化している。第一志望合格に向け、諦めずに挑戦する姿勢を育むとともに、教職員の進路指導力の向上や、進路指導に関わる各種制度・支援方法の見直しを進める必要がある。	
	学校運営等	○少子化の影響に対応するため、校内組織の見直しや改革を進める必要がある。 ○私学授業料の無償化による影響等を踏まえ、さらなる特色化を推進する必要がある。 ○教職員の過重労働を改善するため、業務の精選・効率化を進めるとともに、休暇取得の促進や定時退校日の遵守に取り組み、教職員のライフワークバランスの確立を図る必要がある。	

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	○確かな学力の育成をめざして、各学年の適切な科目・単位数の配置、2学年からの進路希望に応じた文理科目選択等の適正化、その実現に向けた教員一人ひとりの支援力の向上を図る。 ○各学年に難関大学進学希望者を対象とした修学クラスを設置し、特色あるカリキュラム編成、独自の校外活動等の実施により、修学クラスの特色化を推進する。 ○防災 IN くわにし、竹の十三夜、桑西カフェ等、地域住民や関係機関との連携した地域活動を推進する。 ○部活動や資格取得等を奨励し、生徒一人ひとりのキャリア形成を支援する。 ○命を大切にする意識を育み、自己肯定感を高めるとともに、一人ひとりが大切にされる人権感覚あふれる学校づくりを推進する。
-----------------------	---

学校運営等	<p>○授業内容や評価方法について教科会での活発な議論を推進するとともに、学校全体として学力向上及び授業力向上に向けた新たな企画や改善策を積極的に提案し、実行できる体制を構築する。</p> <p>○目的意識の共有を図り、組織力を高めるとともに、地域の多様な関係者との連携により、社会で活躍できる人材を育成するための最適な教育環境を創造する。</p> <p>○総勤務時間の縮減を図るなど、教職員が健康で意欲的に働くことができる職場環境づくりを推進する。</p>
-------	---

4 求める生徒像

<p>入学時に期待される生徒の姿</p> <p>【アドミッション・ポリシー】</p>	<p>○日々の授業を大切にし、確かな学力を身につけるために、主体的に学ぼうとする生徒</p> <p>○学習や学校行事、部活動等に積極的に取り組み、心身ともに成長しようとする生徒</p> <p>○広い視野を持ち自分の将来や進路に向けて努力できる生徒</p>
--	---

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習の充実	<p>○「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善</p> <p>○探究的な学びの推進</p> <p>○「修学クラス」における学びの特色化・魅力化</p> <p>○主権者として社会の中で自立し、地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担う力を身につけるために主権者教育を充実する。</p> <p>○図書館を活用した学びの推進</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業公開期間および相互授業見学を年3回以上実施 ・授業参観期間を年2回以上実施 ・総合的な探究の時間を柱として全ての教科で探究学習プロセスを意識した授業を実施 ・授業及び総合的な探究の時間を活用した「18歳選挙権」関連講座を実施 ・週1回教科会を開催し、学習状況の把握、ICT活用した実践事案など情報共有を推進 ・生徒学校満足度アンケートを実施 ・教員向け授業実践アンケートを実施 ・教科別図書館購入リクエストアンケートを実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に授業に参加したと回答した生徒の割合 	(年度末および 適宜記載)	◎

	<p>85%以上(昨年度実績86.9%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業等で ICT 活用に不安があると回答した教員の割合 40%以下(70%) ・授業等での図書館利用 60時間(89時間) 		
キャリア教育の充実	<p>○大学、企業、行政等と連携したキャリア教育の推進</p> <p>○多種多様な進路希望を実現する進路支援</p> <p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 学年企業職場訪問を年 1 回以上実施 ・個人面談週間(4 月、10 月)及び適時面談の実施 ・CG 部による進学就職希望者への個別面談を適時実施 ・一般入試受験を基本としつつ、第一志望校合格に向けた各種入試制度の活用を推進 ・進路講話、進路ガイダンス(入試に向けて・学部学科選択・文理選択)、卒業生講話の実施 ・校外模試(全統模試・進研模試・看護模試・公務員模試)、自己診断テスト(スタディーサポート)の活用 ・1 日看護体験、保育体験、作業療法士体験等の奨励 ・2 学年総合的な探究の時間で、地域課題等の身近な課題解決探究学習を推進 <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の進路希望実現に向けて最後まで粘り強く努力したと回答した生徒の割合 95%(92.9%) ・探究活動が進路選択に有効であったと回答した生徒の割合 90% (80.8%) 	(年度末および適宜記載)	◎
学校生活の充実	<p>○挨拶のできる桑西生の育成</p> <p>○交通事故等の未然防止</p> <p>○美化意識の向上と美しい教育環境づくり</p> <p>○桑西生が主体となる学校づくり</p> <p>○各種専門家による教育活動の実施</p> <p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止挨拶運動週間の実施 (4 月、11 月) ・各学期に登校指導および下校指導週間の実施 ・交通安全(特に自転車事故の防止)、薬物乱用防止、ネットモラル等の講演会を毎年実施 ・毎日の清掃活動実施 ・生徒総会の実施 ・外部人材による講演会等の実施 7回以上 (23回) <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで挨拶をすることができるかと回答した生徒の割合 95%(95.9%) ・校内美化・清掃活動に努めることが出来たと回答した生徒の割合 95%(94.9%) 	(年度末および適宜記載)	◎

心と体の健康の充実	○健康に関する知識と自己管理能力の養成 ○個々の生徒を支援する特別支援教育の推進 ○いじめのない学校づくりの推進 【活動指標】 ・保健だよりの発行 12回以上/年 ・特別支援教育推進委員会の開催 5回以上/年 ・「いのちの教育」講演会を毎年実施 ・SC、SSW、発達障がい支援員や関係機関との連携強化 ・各学期にいじめに関するアンケート実施といじめ防止委員会による早期組織的対応 ・いつでも、どこでも、いじめや悩みを打ち明けられる窓口を案内 【成果指標】 ・自分自身の心と体の状態を理解することができたと回答した生徒の割合 90%(91.3%)	(年度末および適宜記載)	◎
改善課題			
(年度末および適宜記載)			

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
 また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
資質向上の取組	○教科会の定例化と授業力向上 ○校内研修の充実と校内外への積極的な研修参加 ○先進的な事例の研究とその成果の共有 【活動指標】 ・相互授業見学を1学期、2学期に各1週間実施 ・各部主催の教職員研修を各年1回実施 ・先進校視察の実施 【成果指標】 ・授業改善が進み、生徒にとって満足度が高い授業が実施できたと回答した教職員の割合 80%(78.4%)	(年度末および適宜記載)	◎

組織力の向上	<p>○学校信頼向上委員会等による学校教育活動の課題の分析・改善と運営委員会を中心とした効率的な組織運営</p> <p>○教職員一人ひとりの倫理観の向上と法令遵守</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員を対象とした学校改革アンケートの実施 ・学校信頼向上委員会の開催 3回以上/年 ・コンプライアンスミーティングの開催 1回以上/年 ・コンプライアンスに係るセルフチェックの実施 2回/年 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務運営に積極的に関わることができたと回答した教職員の割合 85%(89%) 	(年度末および適宜記載)	◎ ◎
地域から信頼される学校づくり	<p>○本校の魅力発信のための広報の充実</p> <p>○保護者や地域と連携した行事の開催</p> <p>○専門機関と連携した防災教育の実施</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新回数 4回以上/月平均(3回) ・きずなメール、学年通信等による情報発信やメディアへの情報提供 ・防災訓練や防災研修会の実施 3回/年(3回) ・地域から要請があった各種行事への積極的参加 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会および学校見学会に参加して本校の様子がよくわかったと回答した中学生の割合 95%(96%) ・桑名西高校がメディアに取り上げられた回数 5回以上(7回) 	(年度末および適宜記載)	◎
働きやすい職場づくり	<p>○時間外労働時間の削減や計画的な有給休暇等の取得によるライフワークバランスの向上</p> <p>○職場の仲間を思いやり、自由闊達な意見を言い合える風通しの良い職場づくり</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校日(月2回)に定時に退校できる職員の割合 100%(86%) ・部活動休養日(週1日以上)を設定できた部活動の割合 100%(100%) ・放課後に開催し60分以内に終了した会議の割合 100%(79.4%) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフワークバランスが向上した教職員の割合 60%以上(56%) ・1人当たりの年間休暇取得日数(病欠休暇除く) 15日以上(16日) ・時間外在校等時間が月45時間超職員の年間延べ人数 0人(141人以上) ・時間外在校等時間が年360時間を超える教職員数 0人(17人) 	(年度末および適宜記載)	◎ ◎ ※ ※

	・1人当たりの月平均時間外在校等時間 30時間以下(31時間)		
改善課題			
(年度末および適宜記載)			

6 学校関係者評価

明らかになった 改善課題と次への 取組方向	(年度末および適宜記載)
-----------------------------	--------------

7 次年度に向けた改善策

教育活動について の改善策	(年度末および適宜記載)
学校運営について の改善策	(年度末および適宜記載)